



2008年(平成20年)2月15日発行

# 議会だより No.8

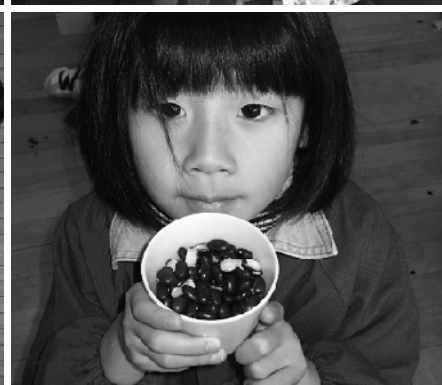
編集 議会報特別委員会

発行 燕市議会 新潟県燕市吉田日之出町1番1号

TEL 0256-93-5296

FAX 0256-92-2135

E-mail: gikai@city.tsubame.niigata.jp



「ウォ～！悪い子はいないか～」 「ギャ～ッ！」 「よーっし、鬼は外。福は～内」（2/1・吉田南保育園の節分にて）

## 主な内容

### 12月定例会

正副議長のごあいさつ.....	2
提出議案と内容.....	2～3
主な議案の審議状況.....	3
常任委員会の審査報告.....	4～5

ページ

第1回臨時会の概要.....	5
平成19年度行政視察報告.....	6
市政に対する一般質問.....	7～15
意見書の提出.....	16
議会を傍聴しませんか.....	16

ページ

# ごあいさつ



議長  
星野 義則

新年おめでとございます。  
市民の皆様には、輝かしい平成20年の新春を迎えられ益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は、7月16日に柏崎市を中心として中越沖地震が発生し、多数の尊い命が失われ、家屋の倒壊や道路等にも甚大な被害が生じ、燕市においても家屋の全壊や半壊が800世帯を超える被害がありました。被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

さて、これからは地方の時代といわれている今日、市町村合併が行われ、全国で約3,300の自治体が1,800以下になり、市町村の数が半減したところであり、燕市も合併後2回目の新年を迎え心を新たにいたし、8万4千人の市民の幸せと、希望の持てる活力ある住み良いまちづくりを念頭に施策の推進をいたす所存であります。益々進む少子高齢化社会の到来となり、子育て支援や老人福祉の施策等に多くの課題が山積しております。

将来を担う子どもたちに夢と希望の持てる環境づくりや、高齢者の皆様方が老後の余生を楽しく送ることができる環境等、行政と議会共通の課題として取り組まなければならないと存じます。議会としても現行30人の議員定数を次回の改選より24人に削減をして、財政負担の軽減に努めております。また、新庁舎の問題も予定地である吉田西太田地内で議決をいたし、新庁舎建設に向けて一歩踏み出した思いであります。

終わりに、今年が皆様にとりまして幸多き年であり、ますことをお祈り申し上げまして、新年のご挨拶いたします。



副議長  
赤川 清

新年おめでとございます。市民の皆様方には、ご家族おそろいで平成20年の初春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

地球温暖化の影響が、近年雪が少なく穏やかな新年であります。お正月早々、雪かきをやったことが思い出されますが、日本の国は南北に長く四季折々の情緒があつて産業や観光面で潤っております。

当燕市でも産業や観光立市であり、そういうことから考えると地球温暖化や環境問題を真剣に考え取り組んでいくことが大切と思っております。

燕市が合併してから3回目の予算議会が3月から始まります。新市建設計画や行政改革の実施計画に取り組んでいく上で、財政状況を見ながらあれかこれかを見極め、透明性をもって地域格差のないよう進めていきたいと思ひます。

教育問題については合併後、小中学校大規模改造工事を18年度・19年度に7校、20年度には3校予定されており、学習する環境づくりを進めているところであります。学習面では教育立市を考えながら、行政、学校、教育委員会、保護者一体となり、内容の充実を目標に日本人の豊かな心や基礎学力を高めることを重点に進めることを提言していきたい。

ものづくりは人づくりが原点であります。燕市の将来の発展のためにはすべての面で市民と共に考え行動をして努力を惜しまないところであります。

終わりに、今年が皆様方にとりまして実り多い輝かしい年になることを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

## 提出議案と内容(原案可決)

第71号 契約の締結について  
(燕市デジタル防災行政無線(同報系)整備工事。3地区の防災行政無線の同報システムを一元化し、安全向上を図るもの。完成期限は21年3月27日)

第72号 新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合規約の変更について(三条市の大字表記廃止によるもの)

第73号 三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合規約の変更について(三条市の大字表記廃止によるもの)

第74号 燕市分水福祉会館条例の一部改正について(燕市分水福祉会館の管理等に指定管理者制度を導入可能とするに伴う一部改正)

第75号 燕市生活支援ハウス条例の一部改正について(燕市生活支援ハウス「分水こども」の管理等に指定管理者制度を導入可能とするに伴う一部改正)

第76号 燕市老人センター条例の一部改正について(燕市老人センターの管理等に指定管理者制度を導入可能とするに伴う一部改正)

第77号 燕市障がい者地域生活支援センター条例の制定について(20年3月完成予定の燕市障がい者地域生活支援セ



前ページより

ンターの運営を行うための条例制定)

第78号 燕市分水コミュニティデイホーム条例の制定について(「地域住民の集い」や「ふれあいサロン」等の会場として一般市民に開放してきることから「公の施設」とすること併せ、指定管理者制度を導入可能とするもの)

第79号 燕市せん定枝リサイクル施設条例の制定について(燕市せん定枝リサイクル施設に指定管理者制度を導入可能とすることに伴う条例制定)

第80号 燕市手数料徴収条例の一部改正について(燕市せん定枝リサイクル施設の使用料を別表に掲げたことによる条例改正)

第81号 燕市水防協議会条例の廃止について(防災会議を設置する燕市では水防協議会を設置せずに、この防災会議で水防計画を諮ることができるとため廃止するもの)

第82号 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について(国の法律改正により、関連する「燕市立学校設置条例」、「燕市奨学金貸与条例」及び「燕市立小・中学校施設設備利用条例」の一部を改正するもの)

第83号 燕市吉田トレーニングセンター条例の一部改正について(個人利用区分の「小学生・中学生」を「小学生・中学生・65歳以上」に改めるほか、市内在住者または市内事業所及び勤務者以外の利用料金を2割り増しとするもの。同時に規定改定によりチケット料金を引き下げ、パスポート料金を条例で定めた最高額に引き上げる)

第84号 字の変更について(吉田宮小路・吉田本所地内の藤島地区の県営ほ場整備事業に伴うもの)

第85号 土地改良事業の施行について(農業用排水施設整備4路線、農道整備3路線、農用地の改良または保全1カ所)

第86号 平成19年度燕市一般会計補正予算(第9号)

第87号 平成19年度燕市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

第88号 平成19年度燕市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

第89号 平成19年度燕市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

第90号 平成19年度燕市住宅団地造成事業特別会計補正予算(第1号)

第91号 燕市職員の給与に関する条例の一部改正について(人事院勧告に伴い、若年層に限定した給料月額引き上げなど)

第92号 平成19年度燕市一般会計補正予算(第10号)

第93号 平成19年度燕市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

第94号 平成19年度燕市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

第95号 平成19年度燕市水道事業特別会計補正予算(第2号)

第96号 契約の締結について(燕市産業史料館新館建設事業(建築)工事)

第97号 契約の締結について(燕市産業史料館新館建設事業(展示製作)工事)

第98号 燕市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について(観光モニUMENT設置工事に伴って、市長及び商工観光部の事務を担任する副市長のそれぞれの給料を平成20年1月分について百分の十減額するもの)

第99号 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

第100号 道路整備財源の制度堅持に関する意見書(以上2件16ページ参照)

## 主な議案の審議状況

議案第83号、燕市分水トレーニングセンターの利用料金引き上げに伴う条例の一部改正では、特に65歳以上の方の利用料金増額が著しく高く、市民の健康保持を目的とした市民サービスの観点から賛成できないとした反対討論が出されました。

また一方では、同センターは、市から年間多額の補助金を受けながらも実質的に赤字運営を強いられている。利用料金を含めた改定は、市民全体に対する市の財政負担が減り賛成であるとする賛成討論も出され、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

一般会計補正予算の議案第86号では、歳入の国庫補助金中、まちづくり交付金の9割近くがさくら公園建設事業として含まれている。厳しい財政状況の下、市全体的に事業の見直しを必要とする中で、建設中止を含め、事業の予算化は賛成できない。

さらに、後期高齢者医療制度の導入では、高齢者の負担が今まで以上に増えてしまうことで全国的に問題となつて

いる。今回の補正では、歳出の衛生費で、新潟県後期高齢者医療広域連合運営費が含まれており、制度の見直しを含めて予算化に反対とする討論が出されました。

これらの反対討論を含めた上で、この議案第86号は、総務常任委員会、市民厚生常任委員会、産業建設常任委員会の委員長報告は可決であり、文教常任委員会の委員長報告では否決のため(次ページ常任委員会の審査報告参照)、起立採決を行った結果、賛成多数で可決されました。

議案第96号、第97号、燕市産業史料館新館建設事業は、新館の入館者数推移や膨大な維持管理費など、今後も続く厳しい財政をより圧迫していくことになる。また、現在の史料館を有効に利用しながら新館建設は縮小し、建設してほしいとの反対討論がありました。

また、産業史料館の新館は、新しい産業のまち燕市として産業界はもとより多くの市民が望んでいる。市をアピールするためにも最優先で取り組む事業であるとした賛成討論も出されました。

このため起立採決を行った結果、賛成多数で可決されました。

## 補正予算の主な内容

## 議案第86号一般会計補正予算(第9号)

歳 入		歳 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
市 税	75,000	賃金・備品購入費	33,337
まちづくり交付金	167,000	障がい者医療給付費、児童扶養手当等	40,545
安全安心な学校づくり交付金	71,507	国・県への支出金返還金	50,909
合併特例債	189,000	街なみ環境整備事業(吉田地区)	48,000
そ の 他	158,140	八王寺佐渡線道路改良事業	146,500
		燕北小学校大規模改造(2期)事業	249,890
		そ の 他	102,466
計	282,647	計	282,647
平成19年度一般会計(補正後)	33,216,921	平成19年度一般会計(補正後)	33,216,921

(単位:千円)

## 常 任 委 員 会 の 審 査 報 告

## 総務常任委員会

平成19年度燕市一般会計補正予算(第9号)

歳入では、土木費国庫補助金のまちづくり交付金1億6,700万円の補正額の中で、大河津分水さくら公園整備事業への充当額や消防団事務経費返還金の内容、農地・水・環境保全向上活動推進交付金と農地・水・環境保全向上活動推進事業補助金の内容について質疑がありました。歳出の内、財政管理費のバランスシート作成業務委託料の減額については、バランスシートをよく研究したうえで予算計上してほしいとの要望がありました。

選挙費の備品購入費の関連では、国・県からの交付金で選挙後、余剰が生じた分を要綱に基づいた備品購入費に振り替えたいとのことだが、返還するものは返還し、必要なものは要求する形が取れないのかなどの意見や、午後8時までに行っている投票時間の見直しについて質疑がありました。

討論では、歳入のまちづくり交付金の中に、大河津分水

さくら公園整備事業への充当額があるため、さくら公園建設に反対している立場から、本議案に反対であるとの意見が一部にありましたので、起立採決を行った結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

## 市民厚生常任委員会

燕市分水福祉会館条例の一部改正について

燕市生活支援ハウス条例の一部改正について

「指定管理者制度への移行によるメリットの検証が必要ではないのか」、「市民へのサービスの観点から、現状の管理委託のほうが良いのでは」、「公の施設で直営と指定管理者制度へ移行するものとの分類はあるのか」などの質疑がありました。

これに対して当局からは、「公の施設の管理運営に民間の能力を導入することで、サービスの向上と経費の削減を図られる。行政改革を推進する意味でも積極的に導入をさせていきたい」。また、「施策分野ごとに分類された公の施設を、指定管理者制度

の判断基準を考慮しながら順次、制度の移行を進めたい」などの答弁がありました。審査の結果、異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

燕市老人センター条例の一部改正について

現在、直営で行っている老人センターに対し、指定管理者制度へ移行した後のメリットについて質疑がありました。当局からは、「燕地区の老人クラブの事務局が社協である。旧3市町の老人クラブも合併し、運営上で利点がある」との答弁があり、審査の結果、異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

燕市障がい者地域生活支援センター条例の制定について指定管理者制度の設置に当たっての議論の経緯と、休館日、利用時間などについて質疑がありました。当局からは、「建設検討委員会が社会福祉協議会を指定管理者とする前提の下で協議を行ってきた。社会福祉協議会は他の法人より公益性が高く、専門的な高度の知識・技術が活用できる。また、休館日や時間などは条例を踏まえた上で、利用者の緊急性や実情に合った形で運営できるよう協議を進めてい



前ページより

る」との答弁がありました。  
また、多様な障がいを持つ利用者が交流を行う場であるため、それぞれの障がいに適応する専門員を配置し、事故などがないよう慎重を期してほしいとの要望がありました。以上、審査の結果、異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

燕市分水コミュニティデ  
ホーム条例の制定について  
指定管理者制度での運営後  
の市臨時職員の待遇と、利用  
者負担の有無についての質疑  
があり、職員は今後の指定管  
理者との協議、また、負担に  
ついては無いとの答弁があり  
ました。審査の結果、異議な  
く原案のとおり可決すべきも  
のと決しました。

燕市せん定枝リサイクル施  
設条例の制定について  
指定管理者制度の公募と、  
指定の期間について質疑があ  
り、「いかに市民が利用しや  
すいよう、サービス低下を避  
けた管理運営に重点を置き、  
公募、指定にかかわらず検討  
を行いたい」との答弁があり  
ました。また、「民間は多様  
なノウハウを保持している。  
経費削減だけを目的とせず、  
今まで以上のサービス向上に  
向け、民間参入を考慮してい

ただきたい」との要望があり  
ました。審査の結果、異議な  
く原案のとおり可決すべきも  
のと決しました。

燕市手数料徴収条例の一部  
改正について  
字の変更について  
以上2件は、異議なく原案  
のとおり可決すべきものと決  
しました。

平成19年度燕市一般会計補  
正予算(第9号)  
交通対策費の駐車場管理費  
で、工事請負費増額の理由、  
地域生活支援事業の内容と、  
児童福祉費の児童福祉手当費  
の補正内訳、衛生費の予防事  
業費、個別予防接種委託料1、  
669万5千円の減額理由と、  
来年度実施予定の後期高齢者医  
療制度と高齢者インフルエン  
ザ予防接種委託料との関連な  
どについて質疑がありました。

質疑の中で、後期高齢者医  
療制度について反対との意見  
がありましたので、起立採決  
を行った結果、賛成多数で、  
原案のとおり可決すべきもの  
と決しました。

平成19年度燕市介護保険事  
業特別会計補正予算  
(第1号)  
以上2件は、異議なく原案  
のとおり可決すべきものと決  
しました。

## 産業建設常任委員会

燕市水防協議会条例の廃止  
について

土地改良事業の施行について  
平成19年度燕市一般会計補  
正予算(第9号)

平成19年度燕市公共下水道  
事業特別会計補正予算(第  
1号)

平成19年度燕市住宅団地造  
成事業特別会計補正予算  
(第1号)

以上5件については審査の  
結果、異議なく原案のとおり  
可決すべきものと決しました。

## 文教常任委員会

学校教育法等の一部を改正  
する法律の施行に伴う関係  
条例の整理に関する条例の  
制定について  
異議なく原案のとおり可決  
すべきものと決しました。

燕市吉田トレーニングセンタ  
ー条例の一部改正について  
近い将来の値上げを想定し  
た改正なのか、利用者を増や  
すためのPR方法、燃料費や  
光熱費についてなどの質疑が

あり、料金の値上げはやむを  
えないが、今後、基礎データ  
を集め、市民の理解が得られ  
るような内容の見直しをして  
ほしい。事業団と連携し民間  
型発想で取り組んでほしいと  
の要望がありました。審査の  
結果、異議なく原案のとおり  
可決すべきものと決しました。

平成19年度燕市一般会計補  
正予算(第9号)

燕南小学校校舎改築事業、

燕中学校校舎改築事業では、

地質調査業務委託料の内容と

金額の差異について、図書館

管理運営費、分水良寛史料館

管理運営費では、館長の報酬

を増額する経緯と勤務体制に

ついての質疑が、また、図書

館や史料館の企画展の開催に

は、燕市はものづくり発想の

まちになってほしいので、企

画の段階から市民と共同した

開催を望む意見がありました。

海洋センター運営費では、

施設管理業務委託料の内容、

更衣室ロッカー購入数と更衣

室での盗難件数、防犯や管理

についての質疑がありました。

続いての討論で、市が補助

金を交付している外郭団体の

事務局長は、非常に厳しい財

政状況の中で、賃金を据え置

いている。市から委嘱されて

報酬を増額するという本議案  
については反対であるとの意  
見が一部にありましたので、  
起立採決を行った結果、可否  
同数であったため、委員長の  
裁決の結果、一般会計補正予  
算(第9号)の議案中、当委  
員会所管分は否決すべきもの  
と決しました。

## 平成20年第1回 臨時会の概要です

1月11日に開催し、議案1件(平成19年度一般会計補正予算)  
を可決しました。

### 議案第1号 一般会計補正予算(第11号)

原油高騰に伴い、低所得者への灯油購入費助成費として、民生費・23,763千円、および、中小企業への運転資金融資に対する信用保証料の助成費として、商工費・1,805千円の合計25,568千円を追加するものです。

# 平成19年度 燕市議会行政視察報告

分権時代を迎え、多くの自治体では行財政の効率化を進めながら都市の活性化を図るため、創意と工夫を凝らした個性的なまちづくりを行っています。

燕市議会の議会運営委員会と4つの常任委員会では、こうした自治体の

を訪ね、先進的な取り組みや創意工夫を凝らした施策を実際に調査し、燕市の行政に反映させ、市民サービスの向上につながるよう、行政視察を行っています。

燕市議会で昨年実施された行政視察の内容を紹介します。

## 1 市町村合併後の議会運営と議会改革への取り組みを視察

議会運営委員会(9人)

7月10日、12日

平成17年4月に1市2町で合併し、新たに誕生した静岡県掛川市。庁舎内には民主主義を象徴したとする円形議場があり、掛川市議会の常任委員会や特別委員会などの議会形態を含めた、市町村合併後の議会運営方法を視察しました。

全国1位を誇るIT先進市、神奈川県横須賀市では議会IT化検討会や議会活性化推進委員会を設置。また、小田原市でも議会改革検討委員会を設け、両市ともに議会改革に取り組んでいます。当委員会としても今後の議会運営に参考となった視察となりました。



横須賀市議会での視察。議会改革の一環、IT化推進の説明

## 2 市街地活性化事業で、民間と行政との複合施設を視察

総務常任委員会(8人)

10月2日、4日

市街地活性化事業に取り組む青森市、協働のまちづくりを進める八戸市、地域や団体の活動支援を推進する岩手県花巻市を視察しました。

特に青森市では、駅前の再活性化を目指して整備が進められ、平成13年にオープンした駅前再開発ビル(通称アウガ)を視察。ビル内には、市場や飲食店、多様な専門店など約50店舗のほか、公的な施設として男女共同参画プラザ、市民図書館が整備されています。市内外からの集客力があり、既存商店街とともに市街地の活性化が図られています。



青森市「アウガ」にて。事業の目的、経過を聞き、施設内を視察

## 3 少子化対策と子育て支援、環境、福祉の先進施策を視察

市民厚生常任委員会(8人)

10月23日、25日

幼児教育、幼児保育の総合的な在り方を含めた少子化対策と子育て支援、循環型社会の形成に向けた環境改善施策、高齢者福祉である介護予防の推進事業を視察目的に、東京都武蔵野市「子育てSOS支援センター」事業、稲城市「介

護予防推進モデル事業」、千葉県習志野市の幼保一元化施設「東習志野こども園」、流山市「ストッパ温暖化!」なぐれやま計画」を視察しました。燕市でも懸案されている事項でもあり、参考となった視察となりました。



幼保一元化施設、東習志野こども園内を視察する委員

## 4 産業振興対策と、新エネルギー導入の取り組みを視察

産業建設常任委員会(7人)

10月16日、18日

燕市としても重要な産業振興対策について、起業や第二創業を行う事業者に対してのセミナーや専門家の指導、さらに、独自の資金融資制度などさまざまな支援策を行っている兵庫県西宮市と、環境

新エネルギー(太陽光発電設備)を庁舎に設置導入している、兵庫県西播磨総合庁舎を視察しました。当市では今後、環境改善の各種計画施行や、新庁舎の建設に向けた協議の中で生かされる内容の視察となりました。



西播磨総合庁舎で。屋上には太陽電池が設置されている

## 5 環境にやさしい学習の場、新しい学校の校舎づくりを視察

文教常任委員会(7人)

10月15日、17日

燕市は、燕中学校や吉田南小学校の校舎新築事業を控えています。これに先駆け、地球にやさしい学習環境を整え、エコロジーの観点から小学校校舎を新築した大阪府和泉市を視察しました。兵庫県小野市では、子どもたちの基礎学

力の向上を目的に、小中学校で計算や漢字など独自の検定制度を設けています。また、同篠山市では、合併特別償を活用して建設された中央図書館を視察。先進的教育現場、ハードとソフトの両面にわたって視察研修を行いました。



昨年新築された和泉市内の小学校。仕切りがなく開放的



# 市政に対する一般質問



## 「燕市の発展のために質問します」

12月定例会では17名の議員が新庁舎建設問題や教育問題、行財政改革や道路整備など、市政全般にわたって、市の考えをたしました。

一般質問と市当局の答弁の要旨を掲載しました。

(一般質問の通告順に掲載)



本 多 了 一  
議 員

**問** 新たな後期高齢者医療制度は、一部凍結ではなくて中止・撤回することなどの意見要望を市長の立場で市民を代表して国に求めてもらいたいがいかがか。

**答** 現在の制度を存続することに對する問題点の解決を始めとして、法律・条

例・組織などの改廃手続き、全国一律に進められているシステム開発、あるいは改修に関する影響、その他を考える

人間ドックの助成を元の70%に戻すこと、介護手当の増額を図ることを強く求める。

**答** 国保事業については一般会計から繰り入れ、あるいは

### 福祉優先の予算編成を求める

は難しいと考える。

**問** 来年度予算編成に当たって福祉優先に言ったが、具体的には国民健康保険税を一般会計から繰り入れてでも引き下げを図るといふこと、

は人間ドックの助成を70%に戻し介護手当の増額を図ることとは、現段階では極めて難しいと考える。

**問** まちづくり協議会の助成金、一律200万円交付で

3年で打ち切りという手法には異論がある。当局は現在のまちづくり協議会についての位置付けと、その活動がどのようにに発展することを期待しているのか。200万円、3年間で打ち切りで、うまくいくと考えているのか。

**答** いずれにしても市民と行政との協働によるまちづくりは大変重要と考えている。今後の補助金のあり方については、各協議会からの代表者で構成される補助金見直し検討委員会を設定することとし

たので、検討委員会のご意見を聞きながら検討していきたい。

**問** 厚生労働省は、妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方の通知で14回程度が望ましいという通知を出しているが、それに合わせる考えはないか。

**答** 望ましい健診回数は14回程度とされているが、当面5回程度を基本にしていきたいと考えている。



清 川 議員  
赤 川 議 員

**問** 水道料金統一化について経営内容が違ふことから、合併後5年以内に統一を図ることになっていったが3年目に入る20年度の準備はできているのか。18年度予算の企業債は大変な金額、19年度も起債を起こすのか。また、先々の見通しと一般

**答** 一般家庭水道料金金地区3、454円、吉田地区2、786円、分水地区3、087円。18年度経常利益燕地区9、052万2、620円、吉田地区1億1、927万4、245

今後健全経営に努めたい。料金統一はこの先残された期間の中で研究しながら資料を作り、議会に報告する。

**問** 財政的に厳しいときにわずかでも収入を得るために

努力を重ねている自治体もある。少しの収入を得ることで無駄をなくそうという気持ちで働くと思うが考えを伺う。

**答** 自主財源の確保のため、市税等の収納率の確保や受益者負担の見直し、遊休土地売却、民間企業からの有料広告の募集に取り組んでいる。今後、巡回・循環バス、封筒やチラシなどの各印刷物、公共施設への広告など実施可能なものから随時有料広告の募集を図っていく。また、公共施設などに、企業名が入った名

称に対する施設命名権なども検討したいと考えている。

**問** 吉田地区婦人会館改修について、合併前からの懸案で利用者の皆さんは心待ちにしている。20年度に改修ができることを約束していたいただきたい。

**答** 7月に耐震診断を実施した。その報告書に基づき耐震補強とエレベーターやバリアフリー改修のための設計委託を進めている。20年度予算において改修工事を精力的に進めていく。



美 江 紀 議員  
齋 藤 議 員

**問** 産業会館で災害対策本部立上げの図上訓練があった。災害発生時に防災計画に載っている役割をいかに速やかに的確に果たすことができるかという訓練。どのような成果があり、実施訓練との比較はどうか。県内の3回の災害の経験や

**答** 図上訓練の成果は地域防災計画、および職員初動マニュアルの検証、対策部、班の事務分掌の再認識と関係機関との連携体制が検証できた

**問** 観光案内看板がいつのまにか観光モニュメントになった。説明不足ではないか。燕の金属加工技術の宣伝の大きなチャンスを逃したことは非常に残念なこと。キャンセ

**答** 縦割り意識の解消も進まない。行政改革を本気でやる気があるのか。

**答** 分権型の中で一人ひとりがどう意識を持つかが大きな問題。職員の意識改革も含

## 貴重な災害経験を活かして 地域防災計画の見直しを！

が必要と思うがどうか。

体験を防災計画に活かすべきと思うが、意見集約は行っているのか。避難施設に分水庁舎が指定されているのはいかなものか。相談窓口の設置

こと。合併時の地域防災計画は3市町の計画を持ち寄ったもの。必要に応じて見直していきたい。相談窓口の設置も検討課題。

ルか、別の場所に設置するべき。観光案内マップが必要ではないか。

**答** 観光モニュメント設置工事や設置場所について中止や変更をするつもりはない。燕の技術を看板製作に活かせると思う。観光案内マップを作成したい。



中越大震災の震度7の町、川口町復興感謝の式にて

め行革の鬼になって一生懸命に取り組んで行く。





中 島 清 一  
中 島 議 員

**問** 地球温暖化対策が喫緊の重要課題である。新庁舎には自然エネルギーを活用した太陽光発電の導入を求めたいが市長の考えは。

**答** 新庁舎建設基本構想の中で、環境にやさしく、周辺環境と調和をした庁舎の建設を基本方針に掲げた。



金 子 正 子  
金 子 議 員

**問** 財政が悪化している理由や市民ニーズに基づいての満足度と重要度を重視しての予算編成は。市民サービスの向上を図るため、縦割り行政を見直し、部・課・係の統合による事務の効率化や大幅な組織機構のスリム化への取り組みは。

## 乳児家庭の全戸訪問 婦人会館のバリアフリー化実施

**答** サービスは高く、負担は低くを基本とした制度調整等が必要。物件費、補助費、扶助費の増加がさらなる一般財源不足を増長させる形にな

今後の職員の適正化計画に沿った組織機構のあり方、新庁舎建設後における組織のスリム化を前提とした組織機構の再構築を検討している。

**問** 20年度の予算編成は一般財源を枠配分方式で、その枠内で事業を評価しながら優先順位などを検討し、市民全体の福祉の向上に寄与するために効率的な事業配分をする。

**問** こんにちは赤ちゃん事業の進捗状況は。吉田地区の保育環境の充実を図るため、幼児教育と保育のノウハウを融合させた幼保一元化施設と吉田北保育園の増築の取り組みは。

## 新庁舎に太陽光発電を 吉田南小学校のグラウンド整備を

太陽光発電システムや風力発電などの自然エネルギーの導入も検討し、環境負荷の低減に配慮した庁舎を目指すこととしている。これから策定する新庁舎建設基本計画の中で、新庁舎の具体像を示していきたい。

**問** 吉田南小学校の新築移転工事に伴い、少年野球を指導されている方々から、野球場としての活用や設備の設置要望が寄せられている。市としてどのように考えられるか。

**答** 学校の教育活動に支障がない範囲内でできるだけ要望が満たされるよう学校側と協議を行い、皆さんに喜んでもらえる施設になるよう実施設計に反映させていきたい。設備等の内容についてもさらに協議を進めていきたい。

**答** 来年度から保健師との連携のもと在宅看護師等から協力をいただき、生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問する。幼保一元化施設と吉田北保育園の増築については幼児保育、幼児教育基本計画策定委員会において協議をしている。

**問** 不審者情報などの防犯情報を一斉に伝え、地域の安全・犯罪防止に役立つ「防災・防犯メール」等を活用したネットワークの構築は。人の心を落ち着かせる効果の青色防

犯灯や、青色回転灯を装備したパトロール車の増車は。

**答** メール配信は有効な伝達手段であり各学校に推奨したい。青色防犯灯、青色パトロール車は検討する。

**問** 婦人会館のバリアフリー改修や吉田小学校の現地での改築事業はどうか。

**答** 新年度の新規事業として婦人会館のバリアフリー及び耐震補強工事を実施する。吉田小学校の改築は今年度中に校舎、屋内運動場の耐力度調査を実施する。

**問** 77億円もの巨費が投じられて実施された全国学力・学習状況調査だが、燕市における評価と分析結果はどうであったのか。

**答** 全国平均と比較すると中学3年国語の基礎的な知識を問う問題が少し下回っているが、それ以外は全国平均と同じか、全国平均を上回っている。燕市の児童生徒の学力は全国平均を確保できている。各学校では状況を分析し、改善の方途を検討しているところである。学習状況調査の結果

果については、食事や睡眠、寝る時間、起きる時間等の生活習慣は全国と比べても良い結果が表れている。しかし、テレビやゲームをする時間、将来の夢や目標、家の手伝い、家族と一緒に運動するといった質問では全国から見ても低い数値を示している。家庭での教育力やコミュニケーションという点で、基本的な生活習慣の改善を図っていきたいと考えている。



田 昇  
土 議 員

**問** 寄付金や募金について、強制でないと思うが、市長はどのように考えているか。

**答** 募金については、緑の羽根、あるいは日赤の社費等、愛の協力募金運動が毎年市を通してご協力いただいている。ほかに社会福

祉協議会での会員会費、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金等があるが、個人が積極的に募金活動に参加し、活動を盛り上げる動きが少ない

額は福祉事業の推進など、団体の事情から日赤社費と社会福祉協議会会費、および赤い羽根共同募金が500円、愛の協力運動が1世帯200円、

## 寄付金と募金の取りくみの内容

のが現状で、主に世帯募金により自治会等の協力で行われているところである。募金等については、質問のようにあくまでも善意が基本であるので強制ではないが、募金の金

歳末たすけあい募金が300円を目安として封筒に明記しており、これについては各団体で協議の上、募金の使途を記載したチラシ等で市民のご理解とご協力をお願いしてい

る。

**問** 町内会費等から一括納入することについて、市長はどのように考えているか伺う。

**答** これは募金の趣旨から、個々の世帯から自主的に寄せられるのが本来の形と考えているが、各自治会の事情もあり、実情に合った方法で実施されているものと思っている。

**問** 住所、氏名、町名、さらに金額が明示されていることについて、市長はどのように考えているか伺う。

**答** 日赤、社会福祉協議会

等について、一応会員としての会費という形で納めているため、住所、氏名、金額等が明記されているものと考えている。



山 崎 雅 男  
議 員

**問** 市民が何を求めているかを市民の目線に立って把握し、限られた財源の配分と事業の選択を誤ることなく、必要な仕事ありきの視点で事業に取り組む考え方で望んでほしい。新年度予算編成方針について伺う。

**答** 新年度予算は、基金

を組み入れての予算編成は極力避け、一般財源の枠配分方式を取り入れ、事業の見直しや財源確保を含め予算編成を行う。

営をどのように考えているか。  
**答** 平成20年度予算における歳入については19年度予算と比較して、一般財源ベースで財政調整基金の繰入額や普

## 新年度予算編成は一般財源の枠配分方式を取り入れ

補助金の廃止・縮小、交付税・交付金等の削減による一般財源収入減の中、来年度の歳入動向、また、起債の自由化に伴い導入された新たな実質公債費比率等も含め、将来の財政運

通交付税の出口ベースで4・2%の減額、前年度繰越金減額も合わせ相当額の一般財源を減額しなければならない。交付税は三位一体改革により、毎年減額される方向で考えて

おり非常に苦しい財政運営が想定される。行政改革の推進受益者負担の公平性の確保および施設の統廃合等を効率的に行い、新市建設計画登載事業についても改めて全市の観点で事業の重要度、緊急度に応じた事業選択を行い財政計画と整合性を図っていく。

現在20年度予算編成に当たっている。  
**問** 国体開催に関して経費節約が常識の現状で、地元企業の協力を仰ぎテレビモニター等の提供を呼びかけることはできないか。  
**答** 今後検討したい。  
**問** 小高保育園の駐車場整備が必要。公道利用を認識した中で事故が発生した場合、責任を負えるのか。  
**答** 財源を視野に入れながら、計画的に進めていき





吉 一 原  
平 議 員

**問** 市税全般および水道料、保育料、公営住宅料、学校給食費の滞納状況は18年度との比較で、どのように改善されたか。(平成19年11月30日現在)

**答** 18年度決算で市税の収入未済額合計で約5億となっている。国保税で約3

億5,000万円、公営住宅料は約2,400万円、学校給食費は約30万円、保育料1,100万円、水道料では3,800万円となり前年度より1・62

**答** 市税では年間延べ2,700人、水道局では550人で徴収に当たっている。また日曜の午前中、毎週水曜日から午後7時まで収納業務を実施し

## 滞納者対策について

%改善されている。

**問** 徴収率向上の対策はどのように取り組んでいるか。またその効果は。徴収に当たっている年間の延べ人数は何人くらいか。

ている。

**問** 市から年間10万円以上給料もしくは報酬を得ている者(公職者)の滞納について、特に対策が必要だと思いが、良い考えはないか。

**答** 現在、滞納者で8名の方がいる。今、申し合わせにより毎月分納されている。

**問** 提言として督促状は工夫して1回目は黄色、2回目は赤色の督促状を送る。3回目には差し押さえすることの通知をする。これらのことを広報で常にお知らせする方法をとってはどうか。

**答** 今後、提案を参考にしてみようという工夫をする。

**問** 保育料、学校給食費は振り込みをやめ、保護者、生徒に袋を渡して直接納めても

らう方法にしてはどうか。

**答** 現金の保管上、安全面を考えて現行の振り込みを進めたい。

**問** 滞納者ゼロを目指して特別整理班を設けるか民間委託を実施してはどうか。

**答** 県の専門員の短期派遣を求め、徴収向上に取り組む。

**問** 今後、滞納者宅を市四役で戸別訪問し、税金金の大切さを訴えてはどうか。

**答** 四役で滞納者宅への訪問は必要と考えている。



宣 広 渡  
邊 議 員

**問** 燕地区はもとより、吉田、分水地区の下水道工事も進捗が図られ、それに伴って下水道事業債も増加しており、本年度末見込額は約210億円に上る。今年度も約10億円を発行し、一般会計から約12億円を繰り入れている。供用開始と

ともに接続率、加入がスムーズに増加しなければ、使用料金の増収も見込めない。そこで、現在の下水道事業計画を見直す考えはあるのか。また、

いない住宅団地を優先的に整備する考えはあるか何う。

**答** 最近に18年度末の供用開始区域人口に対する接続人口比率の状況は、燕地区57・

## 今後の

## 下水道工事のあり方について

このまま下水道事業を進めるなら、一地域の加入率目標を定め、その進捗に合わせて次の工事に取いかかる。今後、宅地開発が見込まれる地域、新築着工件数があまり進んで

7%、吉田地区25・1%、分水地区9・1%、市全体で47・7%と全体的にはまだ低い状況と、広報、チラシの配布、戸別訪問などの啓発を強化し接続促進に努めていきたい。

下水道事業の見直し検討については、今までの状況で進めることは、ちよつと無理があると考えており、整備区域、事業費などの考え方も変え、最終的に一般会計からの繰入金も抑える方向で考えている。また、接続率を上げる手段として、条件が整えば民間の宅地開発に合わせて整備することと考えており、財政状況の厳しい中、効率的で効果のある事業執行をしていく。



燕地区殿島一丁目地内の下水道工事



伊原 大  
議員

**問** 燕市総合計画基本計画、行政改革大綱の最重要課題は、産業の発展と行財政改革により急激に進む少子高齢化社会に対応することではないのか。

**答** 総合計画では、健全財政の維持堅持に努めながら新しいまちづくりを進め

たい。行政改革では、20年度を前期実施計画元年と位置づけ不転換の決意で臨みたい。須頃排水対策としてポンプの入札で予定価格の3

## 産業の発展と行財政改革が 新市の最重要課題

分の1という結果で大雨のときに機能しない事態が心配される。入札における最低制限価格の設定のあり方は、市民の生命財産を守る入札に適用すべきでないか。

**答** 7月1日より建設施行入札の一般競争入札に最低制限価格を試行として実施しており、指摘の入札については実績を考慮して指名競争入札を行ったので最低制限価格を設定しなかった。今後は、指名競争入札への拡大も検討したい。

**問** 酒呑童子行列について市ホームページ観光情報サイトに記載されている内容と、通説として三大悪妖怪と言われる酒呑童子伝説との違い。

また、市長が先頭に立ちながら国上寺前での祈禱など行っているが政教分離規定に違反していないのか。



倉賢 白  
議員

**問** 市役所の組織機構改革にどう取り組まれたのかまた、その結果、市民の利便性と合わせて業務能率はどうなるのか。

**答** 市役所の組織機構は、4課14係を削減、組織機構のスリム化を図った。さらに行政改革大綱案による組

織のスリム化、効率化の推進縦割り行政の見直しを平成20年度に向け、庁内に「組織機構検討本部」を設置し、業務の能率化や分庁方式によるデメリッ

**答** 税収を増す政策として現在策定中の燕市総合計画、基本構想の重点プロジェクトによるものづくりを中心に産

## 市役所の組織機構改革は どのようになったのか

トの解消と市民の利便性が期待できるようにしている。

**問** 市政運営と今後の市政の面から、もっと税収財源につながる事業転換が必要と思うが、その具体策とビジョ

**答** 国の中教審による次期学習指導要領改定問題について、内容では主要3教科の授業時数が増えると現実問題2、3学期制の統合問題が持ち上がってくると思うが。

**答** 雪寒事業の採択要件は厳しく、現在本市要望16地区、その他5地区が本事業を実施中で吉田地区2路線が実施中。これが完了した後協議検討したい。また、関係自治会の皆さんには、このような状況をよく説明し、ご理解を得たいと考えている。





中山 眞二  
議員

**問** 燕市総合計画の燕市の独自性と重点項目はどこにあるか。

**答** 第1に産業の活性化、第2に人口減少対策、第3にこれを支える財政の基盤強化を重視して考えている。

**問** テーマパークの箱物で失敗した夕張、マスコミ

## 産業の活性化と史料館建設

うか。

**答** インターネットを活用した共同受注事業を展開する磨き屋シンジケートは、テレビ雑誌に取り上げられ金属研磨加工の燕市における受注の

を使って町おこしに成功した東国原知事の宮崎県をみて産業の活性化はハード面よりソフト面と思うが、良い企画に補助金をたくさん出してはど

増加に寄与している。今後も業界団体や関係機関と連携し全国に向けた情報発信をしていきたい。

**問** 本来伝えたいものや資

料がたくさんあつて入れる箱物の史料館が造られるのだが、合併特例債ありきで中身の資料ではなく入れ物の史料館ありきに感じられるが、展示物や企画はどうなっているのか、

また入場者の見込みや運営費はどのように試算しているか。

**答** 新館建設に合わせ、1万5千本余りの金属洋食器の寄託を受け、またスプーンの金型一式を借りて製造工程が分かるような展示などのほか、パネルの解説や映像ソフトの充実を図っていきたい。現在6千人前後の入場者があるが5万人ほどに増加することを期待しており、運営費は4,200万円を見込んでいます。

**問** (仮称)朝日大橋の進展ぐあいとそれにつながる道

**答** 朝日大橋は来年度詳細設計をし、平成21年度橋梁工事に着手できるのではないかと聞いている。八王寺佐渡線アンダーパスは23年度完成を目指し、小関佐渡2号線は21年10月の国体開催までに供用開始となっており、バイパスの4車線化は交通量の関係で当分の間事業化は難しいとの見解です。



タナカ・キン  
議員

観光モニユメント設置事業について。

**問** 5社によるデザインコンペの審査の内容は。最終選考の2社、2点を評価した理由は。市長の採用されたデザイン案の講評は。

**答** 5社6点の作品を並べて選び、提出書類を要約した企画提案書(デザインコンセプト、企画、材質、見積額)をその場で読み上げた観光振興課長。自分の感性で決定した(商工観光部長)。

## ものづくりの燕市ならこんなことは許されない

した企画提案書(デザインコンセプト、企画、材質、見積額)をその場で読み上げた観光振興課長。自分の感性で決定した(商工観光部長)。

積書・積算明細書もしっかりしているが、最終選考の2社は積算明細書もなく、公平公正な審査をしたのなら、最終選考に残るわけがない。一次

私も専門家ではないが、2点を見て相対的に、今回決めた作品の方がいい作品だと判断した(市長)。

**問** 一次選考で選外になった3社3点は企画提案書の見

選考の5人、最終選考で市長を入れ6人の審査員も全て理事者側で、デザインの知識のない人ばかりで燕市のシンボルとなるモニユメントの審査を行うというのは、誰が考え

ても不自然である。この高さ10メートルのモニユメントに使用するステンレス板の厚さは。製作している場所は。

**答** ステンレスはSUS304で厚さは1・5ミリ。金沢の大手で製作している。

**問** 燕の金属加工技術をアピールするためのモニユメントをなぜ金沢でつくるのか。採用されたR社のデザイン案が一次選考と最終選考とでは違っていて2枚あった。公平であるべき公共事業のデザインコンペで、こんなことは許

されない。市長はどう責任をとるつもりなのか。

**答** 正直、広い分野をすべて賄っているのが、副市長や部長等への職務権限など、すべて一から十まで対応しているわけではないが、最終責任は私にある(市長)。

業者の方で燕の業者にも当たったが、サイズが大きすぎて2社に断られた、と聞いている(課長)。燕の工場ではモニユメントの本体が入らず、ほとんど板金・溶接加工で、燕の技術では難しい(部長)。



阿部 健二  
部 員

**問** モニュメント設置の資料で時には観光シンボル看板、時には燕市観光案内看板と書くことも不満だが何れも看板である範疇で容認できる。が、問題は看板をモニュメントに変えた行為が、看板の予算を認めた議会をモニュメントの予算

## 看板の予算は認めたが モニュメントの予算は認めていない議会

**答** 予算編成時、新燕市の観光振興のためとして観光看板の予算を計上、まちづくり交付金対象となり事業名を観光

**問** まちづくり交付金事業が3割引のバーゲンセールだからと言って市民が求めているとは思えない観光モニュメントを買い急ぐことに燕市の

**答** 行財政改革への迂遠さを感じてならない。燕市行政改革大綱(案)で(事業を)「あれもこれも」から「あれかこれか」への切りかえが必要だとするなら、あれかこれかに類する市民の必要なもの、例えば子供の医療費助成の延長に予算配分するため、あれもこれもに属する市民が求めているとは思えない観光モニュメントなどをけずることが、燕市の行財政改革に向けて、先ずはやるべきことでは。

モニュメント事業の予算を子供の医療費助成事業に活用して少しでも対象を増やすことにすれば行政サービスの向上につながるのではないかと問われているが、各事業には、それぞれ目的を持って予算づけがなされているものであり、また、ご提言の医療費助成は、その年度だけでなく恒久的継続性を伴う事業であることから難しいと思う。将来を見据え、事業の拡充に向けこれからも努力したい。



大 岩 勉  
部 員

**問** 燕市総合計画は調整し、見直し可能な事業は縮小、地域振興や子育て環境などの充実に回す。そして吉田95号線の都市計画道路整備は物件移転補償も多く12億円の巨費をかける必要性はなく中止を。

**答** 絶えず事業の見直し

を行いながら調整を図る。吉田95号線は旧吉田町の段階で幹線道路の構築としての計画で、事業推進という基本的な方向で考えている。

費者ニーズにあった特色を出していきたい。  
**問** 栄町、緑町市営住宅の建設計画の現状と、使用料滞納者の現状は。

## 地方行政を考え あれも・これも・それもなく

**問** 農業所得の向上と魅力ある農業振興の推進は、農林部だけでなく各部連携した対策を。

**答** 品目横断的経営安定対策、稲作構造改革促進交付金の支援など、制度の周知、消

**答** 緑町団地は県営市営混在であり、総合的再生を考え県に要請している。栄町は対応すべく部内協議を行う。使用料滞納額は燕地区34人469万円、吉田地区42人1、93

いとか、中等教育学校で学力を高めたいということが主な理由と考えられる。不登校児童は小学校7人、中学校33人。今年度は適応指導教室の設置、不登校対策委員会の設置、家庭訪問を行うなど学校復帰への取り組みをしている。教育は人間として生きて働き集団生活に意欲的に参加できるための育成が大切と思う。部活動は楽しさ、苦しさなどを教え、感動を知る人間性の育成に大切なものと思う。





中島 義和  
議員

**問** コメの生産調整が始まって40年、国主導の生産調整から、生産者・生産者団体による需給調整へと制度は変わった。燕市における生産調整の実態はどうか。

**答** 燕市全体では、生産調整数値はクリアした。燕地区100・6%、吉田地区

99・9%、分水地区99・0%、燕市全体で99・9%となった。

**問** 旧燕地域での未達成分に対しては、燕市全体の中で加工米対応でカバーしている

本。財政状況は厳しいが、真面目に積極的に取り組んでいる農家に対する支援を何とかしたいと考えている。

**問** 18年・19年の2カ年事

## いつまで続く生産調整 燕市の対応は

現況に対して何らかの措置が必要でないか。

**答** 新しい品目横断的経営安定対策を成功させるには、何としても生産調整を完全に実施することが最も大事な基

業で、吉田ふれあい広場北側半分を新潟国体アーチェリー会場にとの計画で芝生張替え工事が完了した。3万6000平方メートルの広い芝地に散水設備が無いが、設計時は

どうだったのか。

**答** 今回ふれあい広場に張った芝は「日本芝のみやこ」という品種で、通常の野芝や高麗芝に比べて干ばつに強い特性を持っており、根が活着すれば日常雨水のみで対応でき、散水は必要ないとの認識から、初期養生のみ近くの散水栓及び農業用水を利用させていただければ足りると判断していた。

**問** 設計業務委託は市の直営で行い、それにより2、090万円が不用品になり減額補正

した。議会でも常々、設計業務委託は何でもかんでも外部委託に依存しないで内部で出来ることは内部で対応して欲しいと要望してきた。その努力は評価に値するだろう。しかし、散水設備は必要と思うが。

**答** 夏場の広場使用後においてでは多くの散水が必要であり、現在内部で出来るだけ維持コストの少ない方法を検討中で使用時期までには対応したい。



長井 由喜雄  
議員

**問** 子育て支援の観点から通院助成を小学6年生まで拡大してほしい。「すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業」は見直して、5,000人の小学生が対象となる通院助成拡大に転換してはいかがか。燕市でも子どものインフルエンザ予防接種に

1,000円補助してほしい。昨年12月答弁では効果に否定的だったが、高齢者の接種には市も補助している。効果がないならやらないはずだ。

**問** 新庁舎建設に伴い吉田庁舎を新図書館としてほしい。文科省の「これからの図書館像・地域を支える情報拠点をめざして」という報告をぜひ

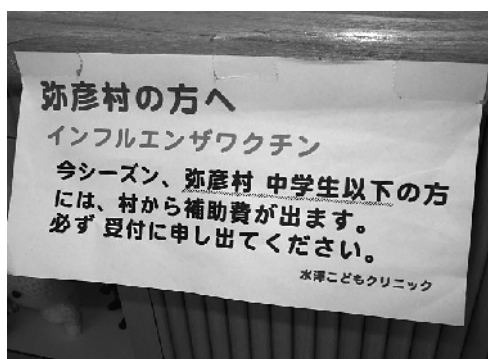
## 燕市でもインフルエンザ 予防接種に1,000円補助を

**答** もう少し時間ももらい、指摘の問題も含めて十分議論しながら検討していく。インフルエンザ予防接種は有効性がないという方もおりその辺で苦慮している。

読んでほしい。「求められた資料や情報を提供する(レファレンスサービス)」など図書館の基本が、目から鱗が落ちるように示されている。学校図書館標準に不足している燕

中5、251冊、吉田北小2、912冊など8校の学校図書を、国の「学校図書館図書整備費」を予算化して充てるべきではないか。公立図書館に指定管理者はなじまない。

**答** 指摘の旨に沿った方向で検討中。図書館機能は貸し出し優先でなくレファレンスサービスの充実と利用促進の必要を再確認した。「図書館像」をもとに環境の整備、また、資料・蔵書の充実、そして市民に重要な施設となるよう努めていく。



弥彦村の補助制度を知らせる  
燕市内の小児科クリニック

## 意見書の提出

12月定例会では、次の意見書を内閣総理大臣をはじめ、関係大臣に送付しました。

### 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

歯や口腔の機能が良好である場合には、全身の健康、介護・療養上の改善に大きな役割を果たすことが厚生労働省の厚生労働科学研究等で実証され、その結果として医療費を抑制する効果があることが「8020運動の実績」で実証されています。

しかしながら、患者の窓口一部負担が重くなっていることから、歯科診療を受けにくくなっており、国民は患者負担を減らしてほしいと切望しています。

また、改革の名のもとに医療内容を左右する診療報酬制度の改訂が行われ、その上過去3回続けて点数評価も引き下げられ、より良くかめる入れ歯を製作することや、歯周病の治療・管理を保険診療で十分行うことが困難になっています。また歯科では過去30年にわたり新しい治療法が保険給付の対象範囲に加えられていません。しかし金属床の入れ歯、セラミックを用いたメタルボンド、レーザー治療など新しい治療法は保険給付外で広く行われています。「保険のきく範囲を広げてほしい」これは患者・国民の強い願いです。

よって、国及び政府においては、医療費の総枠を拡大し、患者負担を増加させることなく、保険でよい歯科医療を確保するため、次の事項の実現がなされるよう強く要望します。

記

1. 患者窓口負担を軽減すること。
2. 良くかめる入れ歯が保険給付として製作、装着、管理できるように診療報酬を改善すること。
3. 歯周病の治療・管理が保険給付として適切にできるように診療報酬を改善すること。
4. 安全で普及している歯科技術を保険給付の対象とすること。

(提出先＝衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣)

### 道路整備財源の制度堅持に関する意見書

道路は、住民の生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、少子・高齢化が進む中、(過疎化が進む中)地域の自立・競争力の強化を図るためには、地方が必要とする道路の整備を計画的かつ迅速に進める必要があります。

当地域における国道116号は、当市はもとより、近隣地域にとって最重要路線であり、当地域の発展に大きな役割を果たしてきました。しかし、他地域ではすでに拡幅工事やバイパス工事が完成している所もある中で、当市を含め、まだ法線決定されていない地域がある現状であります。

また、国道289号は、新潟県と福島県を結ぶ重要路線にもかかわらず、未だに全線開通していない状況であります。さらに合併後における地域間の連絡道路網の整備も急を要するものとなっているなどの課題を抱えており、「安全で安心な地域を支える道路」にはほど遠い状況であります。

こうした中、道路整備の財源を確保するために制定されている「道路整備費の財源等の特例に関する法律」、「租税特別措置法」等の関係法令が本年度末に改正時期を迎えますが、これらの特例措置が維持されない場合には、高規格道路ネットワークの整備のみならず、地域独自の課題に対応するために整備が進められている道路事業にも大幅な遅れが生じ、地域住民の日常生活の安全性や利便性の確保に重大な問題が生じます。

よって、国会並びに政府におかれては、地方の道路整備に重大な支障が生じることをないよう、本年度末に期限を迎える関係法令を確実に成立させ、現行の暫定税率を維持するよう強く要望します。

(提出先＝衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣)

### 議会の傍聴しませんが

#### (3月定例会の日程)

○ 2月27日(水)	全員協議会
○ 3月6日(木)	本会議
	(議案上程、委員会付託、一般質問)
○ 7日(金)	本会議(一般質問)
○ 10日(月)	本会議(一般質問)
○ 11日(火)	本会議(一般質問)
○ 12日(水)	予算審査特別委員会
○ 13日(木)	予算審査特別委員会

○ 3月14日(金)	予算審査特別委員会
○ 17日(月)	総務常任委員会
○ 18日(火)	市民厚生常任委員会
○ 19日(水)	産業建設常任委員会
○ 21日(金)	文教常任委員会(午後1時30分)
○ 25日(火)	本会議
	(委員長報告、質疑、討論、採決)

3月21日を除く各日とも午前9時30分から開催の予定です。委員会については事前にお申し込みください。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。電話 0256-93-5296(直通)

### 議会報特別委員会

委員長	小 林 速 夫
副委員長	長 井 由 喜
委員	中 山 眞 二
"	埴 木 義 豊
"	杣 邊 正 男
"	渡 邊 明 宣

3市町が合併してから、約1年と10カ月が経過し、この間、100人委員会により3地域の事業が慎重に審議されてきました。さらに議会と行政によるさらなる審議がなされ、各地域とも特色を生かした事業が実施されます。地方格差や所得格差による経済の低迷が続く中、産業界の充実を図り、雇用促進に力を入れ、少子化対策や若者が定住できる環境整備の確立と、市民生活の安全と安心に努めてまいります。まもなく新年度の予算審議が始まりますが、財政状況を視野に入れながら慎重に審議を行い、市民サービスの向上に努めてまいります。(杣木記)

あ  
と  
が  
き